

わちエだより

題字 吉田蒼月

Vol.40

平成27年(2015年)
11月発行



トピックス

八千代病院が
国際病院連盟賞優秀賞を受賞

お知らせ

当院駐車場に「き～★モビ」のステーションが誕生
八千代病院 介護の目フェアを開催

特集

Feature Articles

八千代リハビリデイサービス
彩(いろどり)誕生
心と暮らし、未来に彩りを添える
新しいサービスを提供します。

診療情報

大腸ESDの実施医療機関に認可
インフルエンザ予防接種を開始

(IHF International Awards)

八千代病院が国際病院連盟賞優秀賞を受賞

～救急・急性期医療から在宅ケアまで切れ目のない医療を提供する「スーパーケアミックス」の実践が海外で評価～



賞状と盾を手にする弥政院長(左)と
松本理事長(右)



2015年10月6日、世界病院会議のオープニング
セレモニーで賞を受ける松本理事長



2015年10月6日～8日、シカゴで開催された国際病院連盟主催「第39回世界病院会議」において、八千代病院が国際病院連盟賞 優秀賞を受賞しました。同賞は国際病院連盟により今年創設された賞で、世界各国の病院から応募された取り組みの中から、保健・医療・福祉サービスの向上に貢献した優れた事例を表彰するものです。

松本理事長主導のもと、八千代病院はこれまで、地域

の方々が状態に応じて適切な医療・介護を切れ目なく受けることができるよう、院内に救急・急性期医療から在宅ケアまでの医療・介護提供体制を網羅するとともに、他の病院、診療所、行政との連携を強化して「地域医療の最適化」を推進してきました。今回の受賞は、この包括的な医療提供体制＝スーパーケアミックスが、先進的で優れたモデルであるとして国際的に高く評価されたものです。

【受賞概要】

賞の名称：2015年国際病院連盟賞

受賞件名：八千代病院のスーパーケアミックス

一救急から在宅ケアまで切れ目のない医療・介護の提供一

受賞者：社会医療法人財団新和会 八千代病院

国際病院連盟賞には以下2つの賞が設けられており、世界19か国から105件の応募がありました。

1. 会長最高賞（国際病院連盟会員の中から選定）
2. 優秀賞（連盟会員および非会員から公募した取り組みの中から、以下3部門で優秀賞を決定）

★①医療分野におけるリーダーシップとマネジメント

②医療の質と安全、患者中心の医療への取り組み

③CSR（社会的貢献）の取り組み

専門審査団による厳正なる審査の結果、当院は2①の優秀賞を受賞。日本からは他に、聖路加国際病院が1の会長最高賞に、四国こどもとおとなの医療センターが2①の次点に選ばれました。

国際病院連盟について



スイス・ジュネーブに拠点を置く医療関連組織の国際的団体。主な会員は各国の病院、病院協会、その他医療関連団体など。保健・医療・福祉サービスのレベル向上を目的に掲げ、医療関連組織のための世界レベルの「知識の集積場所」として、保健医療分野の戦略的情報や経験の共有を促進しています。日本の代表的病院団体・日本病院会は国際病院連盟の正会員であり、八千代病院は日本病院会の会員となっています。

地域医療の最適化を目指して生まれた、スーパーケアミックス。

社会医療法人 財団新和会 八千代病院 理事長 松本 隆利

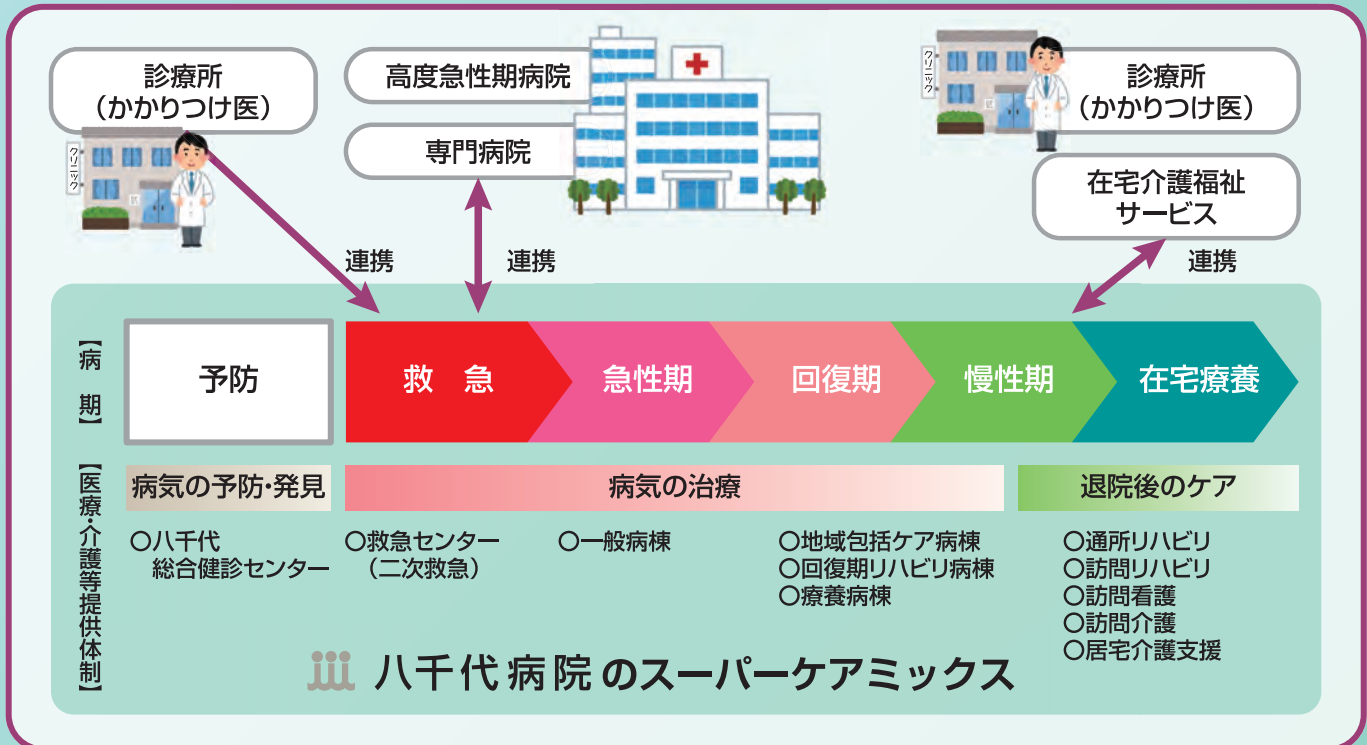
団塊の世代が後期高齢者となる 2025 年に向けて、現在国は医療機関の機能分化・連携による効率化を推進しており、多くの病院が選択と集中を迫られています。しかし病院ごとに機能分化を進め、効率を追求していったのでは、地域住民の安心と安全は守れません。そこには「地域最適化」の視点が必要です。

八千代病院は早い段階から「地域医療の最適化」を考え、病院の機能拡充を図ってきました。その中で近年、とくに力を入れて取り組んできたのは、「救急の受け入れ体制強化」と「高齢社会の疾病構造に対応した医療・介護提供体制の整備」です。

前者については、三次救急・高度急性期を担う病院への患者さんの過度な集中を緩和するために、当院は医療機器や設備を拡充し、二次救急の受け入れ強化に努めました。加えて高度急性期を脱した患者さんを早期に受け入れる病床も整備し、三次救急病院が本来の機能を発揮できるよう支援体制を整えてきました。

また後者については、複数の疾患を抱え、要介護状態になりやすいという特性を持つ高齢者を支えるために、複合的な疾患に対応する高度な診療機能を充実させる一方、地域に不足していた回復期・慢性期の病床を整備し、医学管理の下で充分なリハビリやケアを提供する体制を築いてきました。このように「今、地域に不足しているものは何か。必要な医療は何か」を考え続けた結果が、現在の形につながっています。

地域医療の最適化を目指して進化してきた「スーパーケアミックス」は、当院だけの力で成り立つものではありません。地域の病院や診療所の先生方、介護福祉施設、行政など多くの皆様との連携協力のうえにはじめて成立するものです。したがって今回の賞は、当院だけでなく、地域全体に与えられたものだと考えています。私たちはこれからも、地域医療の充実のために努力してまいります。今後とも皆様のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



急性期と回復期、急性期と慢性期など、ひとつの病院内に異なる機能の病棟を併せ持つ病院のことを「ケアミックス病院」と言います。八千代病院は地域の二次救急病院として、24時間救急医療を提供する高度な診断・治療機能を備える一方で、回復期、慢性期、在宅まで継続性のある医療・介護を提供しています。こうした包括的な医療・介護提供体制を当院では「スーパーケアミックス」と呼んでいます。

「八千代リハビリデイサービス 彩」誕生。 心と暮らし、未来に「いろどり」を添えていきます。

2015年9月、「八千代リハビリデイサービス 彩」が誕生しました。生活に特化して作業を活動の中心に置いた、今までにないリハビリデイサービスをご提供しています。

「彩」が提供するリハビリデイサービスとは？

ご自分らしい生活へと変わるための場を提供

高齢者の方々は、これまでいろいろな経験を積み重ね、それぞれに価値観や大切にしていること、やりたいことを持っています。しかしながら、障害などによって要介護認定を受けたことで、何かをしたいという気持ちをあきらめてしまっている方が少なくありません。そこで「彩」では、利用者の「～したい」という主体的なお気持ちを大切に、ご自分らしい生活へと変わるための場やサービスを提供しています。

生活に特化し、家事や趣味などの作業を重視

ご自分らしい生活へと変わるきっかけとして、「彩」が重視しているのが作業です。食事や排泄など生活に不可欠な作業（1次活動）にとどまらず、仕事や家事など社会生活に必要な作業（2次活動）、趣味など生活を豊かにする作業（3次活動）を充実させています。さまざまな作業を通じて、自分の目標を実現したい、誰かの役に立ちたいという意欲を満たし、心と暮らし、未来に「いろどり」を加えます。

4つのゾーンに分かれて、やりたい作業を行います。

「彩」では、リハビリ専門職に「リハビリをやってもらう」のではなく、利用者が“やりたい作業をご自身で”行います。これまでの生活や誰に何をしたいかなど、利用

者への聞き取りのもと、利用者としリハビリ専門職が一緒になって目標を設定。毎回、ゾーン毎に分かれたメニューを利用者自身が選び、作業や運動を行います。

創作

クリエイティブ・ゾーン

木工や革細工、手芸など、自分や家族、友人のための作品づくりを行います。



運動

トレーニング・ゾーン

最新のトレーニング機器（TRX）などを使って、1日1回は体力づくりを行います。



家事

ハウスワーク・ゾーン

炊事・洗濯・掃除など、日常生活に必要な活動を行います。



憩い

リラクゼーション・ゾーン

コーヒーやマッサージチェアで一息つける寛ぎ空間。パソコンの練習もできます。



「八千代リハビリデイサービス彩」の特色

専門職が集まり、新しい取り組みに挑戦します。

「彩」では、仕事で培ってきた能力を活かしたい、人に喜んでももらいたいなど、利用者のより高度な希望を満たすために、利用者が講師となって活躍できるイベントを開催したり、ポイントシステムを導入したりと、新しい取り組みにチャレンジします。また、地域の方との交流を大切に、地域に開かれた施設として活動の幅を広げていく予定です。

特色 1 リハビリ専門職や看護師などが常駐、 八千代病院と連携し切れ目のないケアを

「彩」は八千代病院を母体とするため、看護師、理学療法士、作業療法士、介護福祉士、生活相談員など専門職スタッフが充実している点が大きな特長です。疾患を抱えていても常に看護師が寄り添い、薬の服用や血圧測定など日常の健康管理をご自身で行えるようサポートします。

また、八千代病院と連携し、総合的な医療・介護サービスを提供。利用者に何かあればすぐに病院と連絡を取って対応するほか、地域のほかの施設との連携も大切に切れ目のないケアを提供します。



特色 2 楽しく使えるポイントシステムを導入

利用者に喜びややりがいを感じていただき、活動参加を促す、施設内ポイントシステムを導入しました。テーブルを拭く、ご飯を炊くなど施設内でのお仕事をさせていただいた利用者には、ポイントを付与。ポイントはコーヒーやマッサージチェアといった施設内での楽しみやイベント企画などにご利用いただけます。

特色 3 IT機器を活用し、 利用者の情報を共有

利用者の様子をご家族やケアマネジャーなどと共有するため、インターネット上にコミュニティを開設。リハビリ専門職が施設での利用者の写真を投稿したり、ご家族がご自宅での様子を報告したりと、IT機器を活用して情報を発信・共有することで、次のステップへとつなげていきます。





よくいただくご質問

Q 八千代病院の短時間通所リハビリテーションとはどう違うの？

短時間通所リハビリテーションでは、3カ月を1クールとし、リハビリ専門職が動作分析をしてマンツーマンで個別の機能訓練を行うなど、運動が中心となります。「彩」では、生活に特化した作業を中心に行います。



A



Q 介護施設の通所リハビリ（デイサービス）のように入浴はできるの？

「彩」では入浴サービスを提供しておりません。ただし、送迎サービスを行うほか、1日コースをご利用の方には食事サービスを提供しています。

A

サービス開始までの流れ

八千代リハビリデイサービスは、介護保険の**要介護認定者**を対象としたサービスです。

1 サービスを受けたい



2 担当のケアマネジャーに相談



3 八千代リハビリデイサービス彩^{（いろどり）}に電話



4 スタッフがご自宅を訪問・契約
サービスの説明・契約手続きを行うとともに、利用者の心身の状態や生活状況を確認します。



5 計画書の作成・合意
利用者お一人ひとりに合わせて目標を設定。ご本人・ご家族に計画を説明し、同意を得ます。



6 サービスの開始

対象者

- 要介護認定者
 - 施設より半径5km圏内(送迎エリア内)の方
- ※詳しくはお問い合わせください。

実施日時

月～金曜日(年末年始、一部祝日を除く)

- ① 1日コース / 9:50 ~ 15:00
- ② 半日コース(午前) / 8:40 ~ 11:50
- ③ 半日コース(午後) / 13:10 ~ 16:20

お問い合わせ

八千代 リハビリデイサービス 彩^{（いろどり）}

TEL.0566-78-1616(直通)

住所 〒446-0073 安城市篠目町 4-4-3

早期大腸がんに対する内視鏡治療「大腸ESD」の実施医療機関に認可

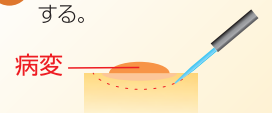
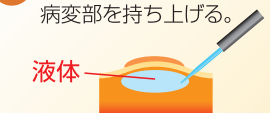
大腸がんの治療方法には「内視鏡治療」「外科治療」「化学療法」「放射線治療法」などがありますが、近年医療機器や技術が進歩し、内視鏡治療の適応範囲が拡大。大腸がんの中でも、粘膜内にとどまっている、または粘膜下層の浅い部分までにとどまっていると考えられるものは、ESD（内視鏡的粘膜下層剥離術）という手技により内視鏡で切除できるようになりました。

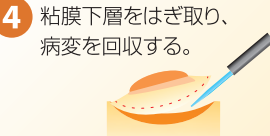
大腸ESDはこれまで、先進医療に指定され保険外診療となっていました。2012年4月より保険が適応されるようになりました。ただし治療には高い技術を要するため、現時点では厚生労働省が定める基準を満たし、所定の届け出を行った施設でのみ実施できることになっています。

当院はこの基準を満たし、2015年9月より「大腸ESD」の実施が可能になりました。

ESD(内視鏡的粘膜下層剥離術)

開腹せずに内視鏡用電気メスで病変を剥離する新しい治療法。

- 1 病変の周辺をマーキングする。

- 2 粘膜下層に薬剤を注入して病変部を持ち上げる。

- 3 病変周囲の粘膜を切開する。

- 4 粘膜下層をはぎ取り、病変を回収する。


八千代病院内視鏡センター（消化器内科）では、病気の早期発見・治療に努めるとともに、患者さんの身体への負担が少ない治療に積極的に取り組んでいます。内視鏡治療について詳しくは、次号のやちよだよりでご紹介します。

平成27年度のインフルエンザ予防接種を開始

ワクチンの接種には、発症を抑える効果や重症化を予防する効果があり、とくに高齢者や基礎疾患のある方など、罹患すると重症化しやすい方には効果が高いと考えられます。インフルエンザは例年、12月から3月にかけて流行しますので、接種を希望される方は予防効果を高めるために、

12月中旬までに接種を済ませておくようおすすめします。

なお今季より使用するワクチンが、今までの3価（A型2種、B型1種含有）から、4価（A型2種、B型2種含有）に変更になりました。ワクチン納入価格が高くなった分、接種料金も高くなっておりますので、ご了承ください。

接種概要

対象者／高校生以上（小児科の予約は終了しました）
受付日時／月～金、第2・4・5土曜日 8:15～12:00
 （ワクチンが無くなり次第終了します）
接種時間／9:00～
接種料金／1回 4,320円（税込）※
問い合わせ／総合受付

※安城市在住で以下に該当する方は、自己負担金1,500円で接種ができます。

接種時に、市から送付された「安城市高齢者インフルエンザ予防接種予診票兼接種券」をお持ちください。

○65歳以上の方（平成26年12月末日をもって65歳になる方も含む）

○60歳以上65歳未満で、心臓、腎臓、呼吸器または、ヒト免疫不全ウイルス（HIV）による免疫機能の障害（障害者手帳1級）を有する方



予約
不要

予防接種を安全に受けていただくために

基礎疾患（慢性疾患）などがあり現在治療を受けている方は、事前に主治医にインフルエンザワクチン接種の可否を確認してください。病気の内容によっては、主治医の判断がなければ接種できないこともあります。

なお当院では、電話による接種可否の問い合わせには応じかねますので、診察時に医師にご確認いただきますようお願いいたします。

新任医師紹介

NEW FACES

当院に新たに 着任した医師をご紹介します



産婦人科
寺澤すみれ(てらさわ すみれ)
平成27年8月1日着任

藤田保健衛生大学病院産婦人科4年目の寺澤と申します。8月から1年間八千代病院に赴任することになりました。1年間という短い期間ではありますが、よろしくお願いいたします。

所属学会：日本産科婦人科学会

当院駐車場に「き〜☆モビ」のステーションが誕生

「き〜☆モビ」は、安城市創蓄省エネルギー・プロジェクト推進協議会※が運用する、超小型電気自動車を使用したカーシェアリングサービスです。このたび当院は社会貢献の一環としてこの事業に協力し、病院敷地内駐車場に車両の発着場所となるステーションを設置しました。「き〜☆モビ」のステーションは10月末現在、安城市内に28カ所あり、目的地のステーションで乗り捨てできるシステムになっています。

サービスの利用にあたっては、事前に会員登録と講習受講が必要です。詳しくは、右記サイトをご確認ください。

※安城市、安城商工会議所、株式会社安城スタイル、株式会社デンソー、豊田通商株式会社で構成。



き〜☆モビ

Anjo

●11月2日(月)より
利用可能!!

●利用時間
8:00~20:00





八千代病院
Yachiyo Hospital

利用に関するお問い合わせ先

き〜☆モビ公式サイト

<http://www.kiimobi.jp/>

☎0120-40-1420

高めよう 地域の介護力 介護の日フェア

開催日／2015年11月14日(土)
時 間／9:30~12:00
場 所／八千代病院 本館1・2階

どなたでも自由にご参加いただけます。気軽にお立ち寄りください。(無料)

各開催場所は当日に1階エントランスでご確認ください。

高齢化が進む今、介護は誰にとっても身近な問題です。

日頃介護に馴染みのない方も、この機会に是非、介護の世界に触れてみましょう。

●講演

「いきいきと、豊かに生きる」

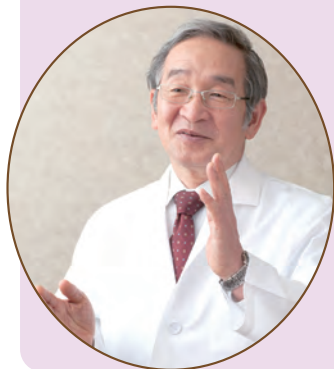
八千代病院 理事長 松本隆利

時間／10:10~11:15

※講演の前後に「介護予防体操」を行います。

●介護用品・介護食品の展示と案内

●介護専門職による介護相談



わちよだより

2015 Vol.40

発行日／平成27年(2015年)11月1日発行
編 集／八千代病院 新聞・広報委員会
社会医療法人 財団新和会 八千代病院

発行人／八千代病院 院長 弥政晋輔
制 作／八千代病院 広報係
〒446-8510 安城市住吉町2-2-7

編集長／米山明彦(内科)
TEL:0566-97-8111(代)

2015.11.2000T